

[海況概要]

今週の本県近海の表面水温は、17～24℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

[漁況概要]

中小型まき網--西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の3.1倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。

イカ釣----ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、ダツなどが1日1統当たり450kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり199kgの水揚げで、前週の66%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり26kgの水揚げ（前年を上回った）。

[日本海スルメイカ情報]

今期(11/20～11/25の6日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸～三沢北東沖で操業。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部(沖合船)は、2日延4隻、総計455箱、1航海最高73箱、平均113.8箱。

ケンサキイカ(2～3立)437箱、アオリイカ18箱を漁獲。

(漁業情報サービスセンターより)

[お知らせ]

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>